

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***本田乾板(Nova Ser 1970)3枚収蔵**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館消失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大きな発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は**本田 Plate Nova Serpens 1970**と書かれた印画紙の箱(写真1)の乾板3枚を収蔵した。

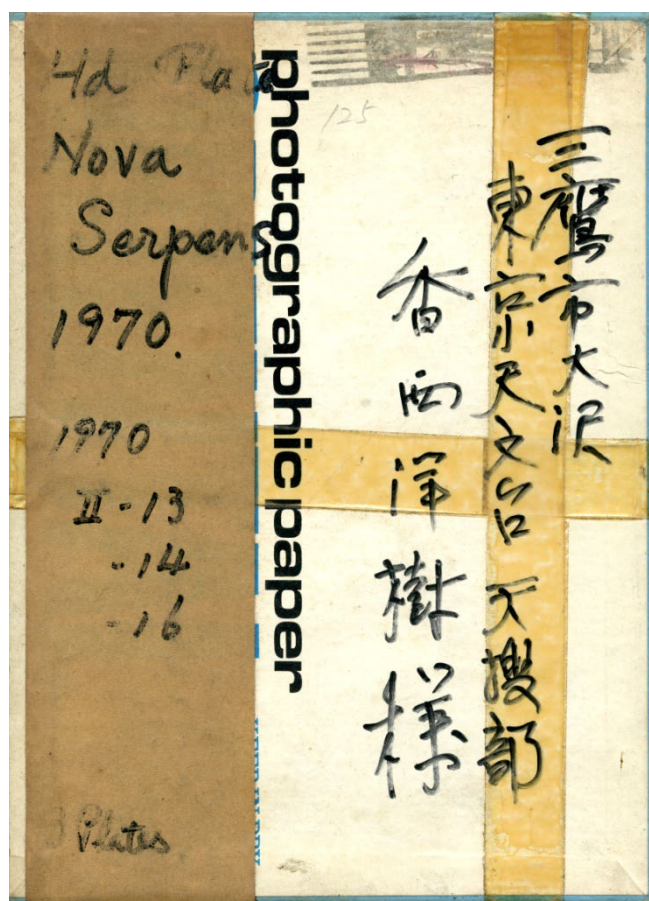


写真1 乾板が送られた印画紙の箱

今回、入っていた乾板は3枚である。乾板の袋、乾板に書かれたメモは表1のようである。これらはNovaと書かれていて、撮影年月日は1970年2月13日、14日、16日である。2月14日の印の位置(写真3)には、2月13日の乾板では星像は認められない(写真4)。また、2月16日の乾板のみ、 α 、 δ が書かれ、望遠鏡がエルマジー13cm620ミリ(おそら

く口径 13.5cm、焦点距離 620mm であろう) と書かれている。他の 2 枚とは撮影した望遠鏡が違うのか、どう眺めても他の 2 枚と同じ天体が同定出来なかった。Nova Ser 1970 の位置は理科年表によると $\alpha = 18^{\text{h}}30^{\text{m}}47^{\text{s}}$ 、 $\delta = +2^{\circ} 36' 52''$ とあるから、この星野に移っているはずだが、同定に至らなかった。

本田Plates(nova 1970 Serpens)						
	α	δ	撮影年月日	露出開始	露出終了	露出時間
12			19700213	524	534	10m
12			19700214	534	543	9m
ノバ	18h29m	N 2° 40'	19700216	507	517	10m

表 1

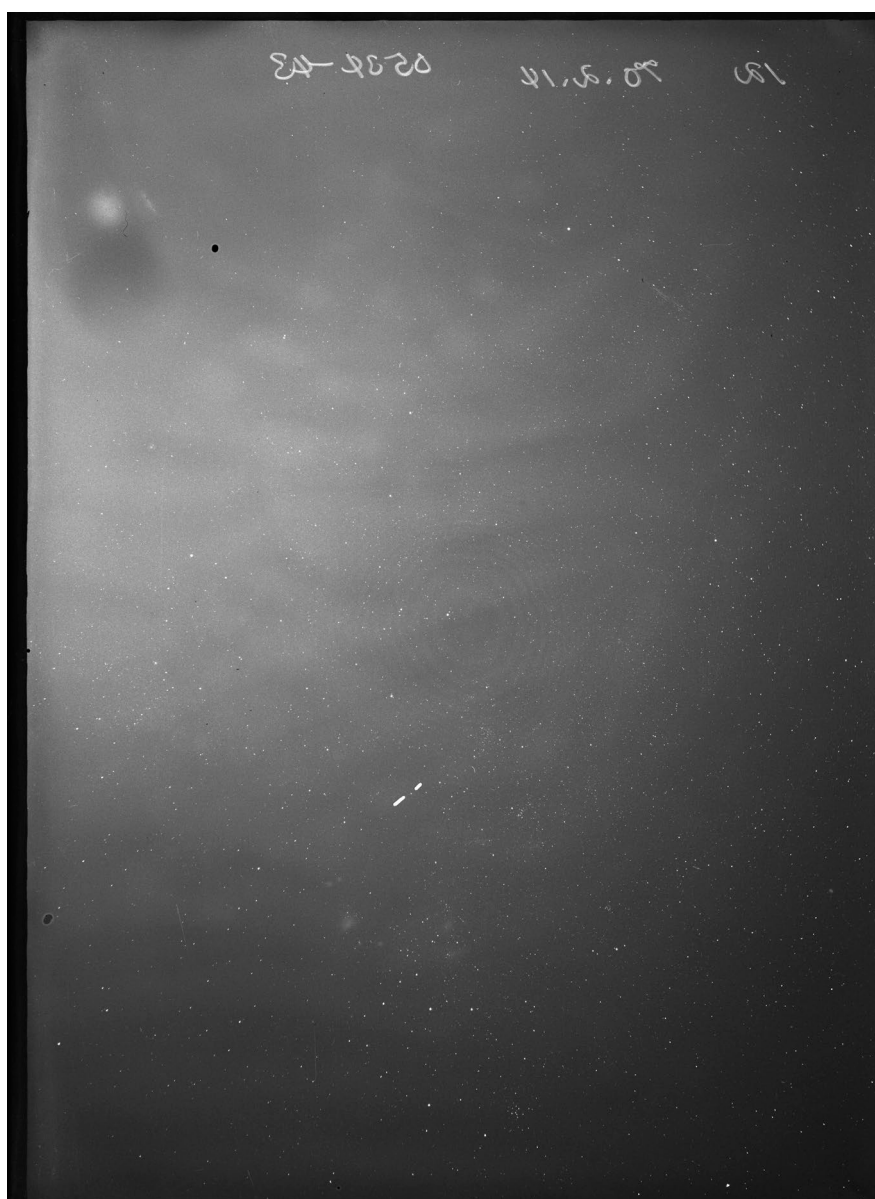


写真 2 1970 年 2 月 14 日の乾板

この印あたりの拡大が写真3である。

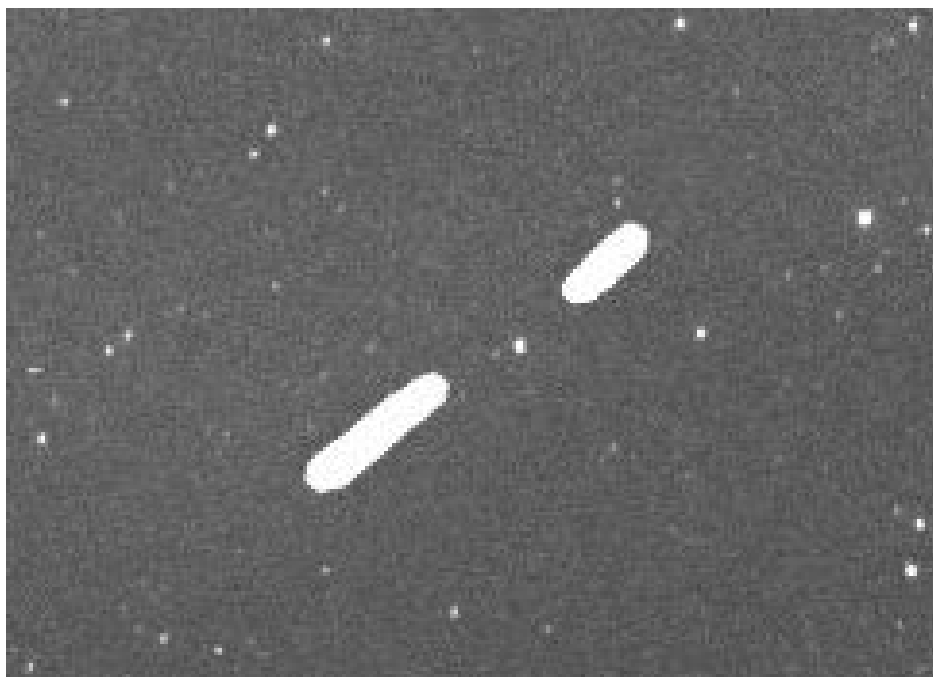


写真3 1970年2月14日の印あたりの拡大

1970年2月13日の乾板のその部分の拡大が写真4である。



写真4 1970年2月13日の乾板の拡大写真

写真3の2本の棒線の中の星像の位置の、写真4の☆印の中心には星像を認められない。2月13日には見えなかった星像が2月14日に突然現れたことになる。2月13日の乾板の全体像が写真5である。



写真5 1970年2月13日の乾板

1970年頃には、新星が発見されると天文学者は光度変化を追跡する、スペクトル変化を追うなどすぐさま観測を行ったようで、天文月報1970年7月号にそれらの記事がある。

なお、写真6が2月16日の乾板である。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp

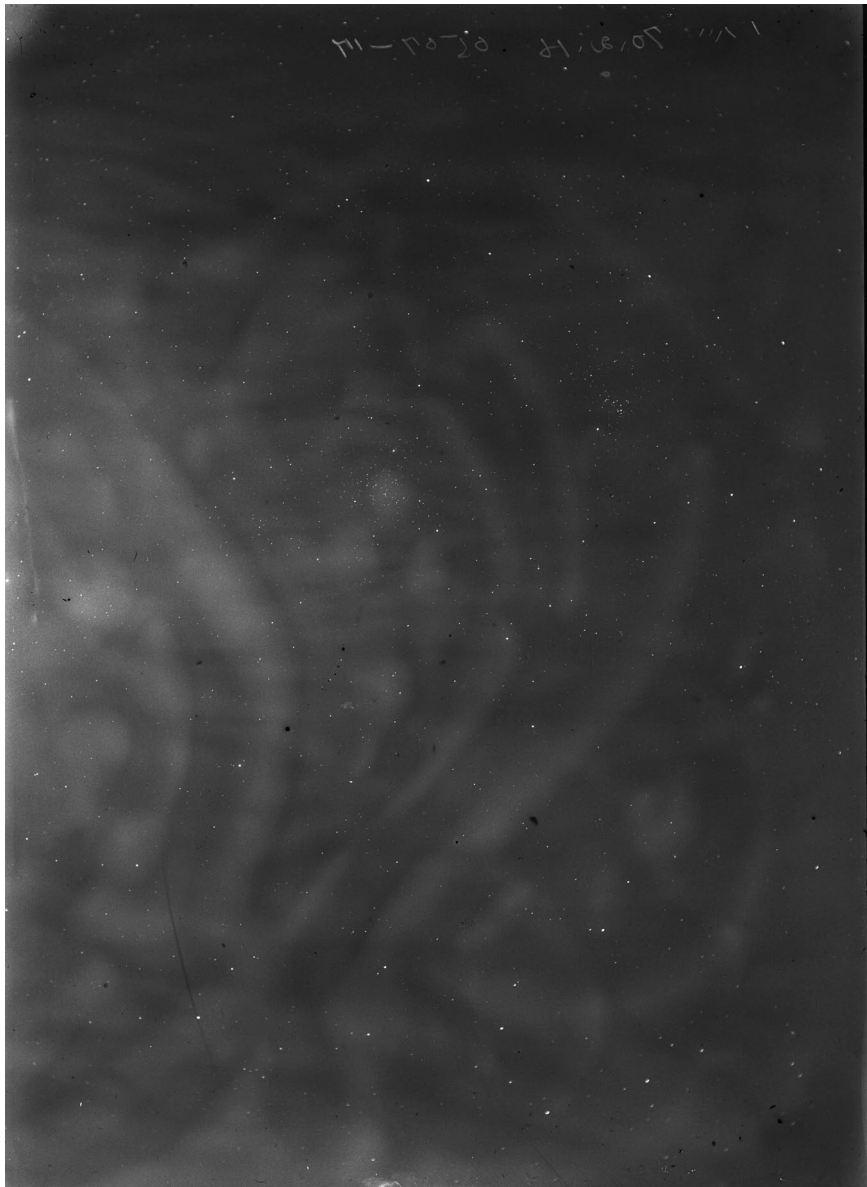


写真6 1970年2月16日の乾板